

理念



代表取締役社長
向井 伸太

自分らしさの家をつくる

大美建築は、創業から60年あまり、日本の代表建築である数寄屋づくりをベースに幅広いフィールドで数多くの建築を手がけてきました。

数ある建築会社のなかで大美建築が目指してきたこと、それは自分(お客さま)らしさの家をつくること。お客さまひとりひとりとひざを突き合わせてのコミュニケーションに時間をかけ、その人に合った家をつくることを基本理念にしてきました。私たちの都合でつくるのではなく、あくまで住む人や使う人が主役の建物。これは当たり前の考えのように思えますが、この具現化には時間がかかります。見た目だけのデザインではなく、内から輝きはじめる家を生み出すためには、深い熟成のときが求められるからです。

数寄屋づくりで培った簡素化精神が私たちの建物づくりに生かされています。しほりこんだデザインと確かな施工技術によって、「大美建築の建物はどことなく違う」という評価をいただいています。どことなく違う建物、これは量産できません。とことんお客さまに満足してもらおう建物をつくりたいとの思いから、企画・設計・施工にじっくり時間をかけます。

もちろん無意味に時間をかけることはいたしません。スピードや効率化が求められる現代においては、短期間でローコストの建物をつくることも重要な建築要素です。

これまで培ってきた建築のノウハウ(技術的な蓄積)とネットワーク(連携網)を生かして、「時代が求める機能・素材・デザインとは一体何なのか」をしっかり見つけ、その時代に生きる人たちに快適さや住む喜びを提供したい、と考えています。

大美建築は、その時代に輝くだけでなく、歳月がたつほどに艶を増してくるような建築を目指していきます。

大美哲学

感謝、感動、感性、3つの「感」で より豊かな社会づくりに貢献する。

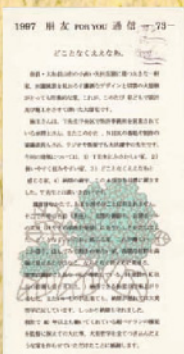
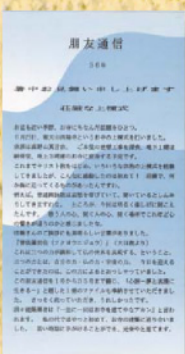
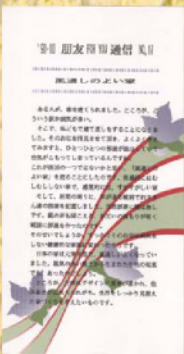
私たちは、建築を業（なりわい）としています。住まいをつくり、店舗をつくり、オフィスビルをつくり、工場をつくり、それがひいては都市空間をつくりあげ、ひとが気持ちよく生活できる社会づくりに貢献しています。

私たちのこの仕事の根底に流れるもの、それが3つの「感」。

ひとつが「感謝」。これには2つの面があります。「数ある建築業者のなかから、私どもを選んでいただきありがとうございます」という、仕事をさせていただける喜び。そして、建物を建ててお客さまから「いい家を建ててくれてありがとう」と感謝していただける仕事をする事。

二つめは「感動」。感動とは心が動くこと。お客さまからの要望通りのものを仕上げるのは当たり前。要求以上のものがさりげなく提案でき、きこえ、建築のプロ。たとえば、工期を短縮したり、思わぬデザインを引き出したり、とプロの視点から生み出した新しい提案をお客さまに見せします。

三つめは「感性」。言い換えれば感受性。社会やものごとや心の動きをすばやくとらえ、即仕事に反映させます。お客さまが望んでおられることや時代が求めていることをくみ取る鋭い感性が完成度の高い仕事を生みます。



平成元年5月より始めた、社長からのお便り「朋友通信」。



日本のこころ、ここに在り。

数寄屋造り



吉本邸:すべて椋材を使い、瀟洒な佇まい。
(設計施工:大美建築)

数寄屋とは、本来、茶の湯のために建てた茶室のことで、一畳半から四畳半までの小室に用いる名称です。さらに、数寄とは、数奇(風流を好む意)に通じ、故意に奇をてらうのではなく、自然を尊ぶ心の現れとされています。大美建築は、この日本のこころを凝縮したような数寄屋造りからスタートしました。

数寄屋造りに用いられる部材は細いので繊細なデザインが求められ、その洗練されたスタイクな仕上がりには日本の原点が感じられます。

浮田邸和室…簡素化された数寄屋風和室。
(設計:森田建築設計事務所)



厳しいルールに従って、
祈りと癒しの空間をつくる。



西福寺(真言宗):ステンドグラスのある本堂。
(設計:井上建築設計事務所)



西向寺(浄土宗):今も昔も変わらぬ
不偏の形。
(設計:このは建築設計事務所)



生と死を見つめる厳かな空間が、
お寺。より多くの人にやすらぎ
を与え、心やすまる場にシなく
てはなりません。建築に際して、
宗派に応じて決まり事が多く、
設計、施工にも特に気を配る必
要があります。精緻な計算と
瞬たりとも気を抜かない緊張
感が、祈りの空間を生みます。

人生プランにのっとった建築設計で、 ライフステージを彩る。

住宅

少子化・高齢化社会の到来を迎え、それぞれの家族に合わせて長期的な人生設計を考えなくてはならない時代になりました。子どもはやがて巣立ち、夫婦二人になる時が、意外に早く来ます。そして、自らが高齢になったときのことを考慮し、バリアフリー住宅にしておく必要もあります。まさしく家づくりは、そこに住まう家族ひとりひとりの人生を見直すことにもなります。生活の舞台でもある住宅を住まう人と一体となつて考えていきます。



濱見邸: 旧城下町の町並保存地区にある家。
(設計: IKE建築環境設計)



森田邸: 真面の住宅街でひときわ目を引く住宅。(設計施工: 大美建築)



福井邸: 門屋と蔵を増築。(設計施工: 大美建築)



皆見邸: 門長屋を持つ家。(設計: 集建築工房)



辻本邸: 高台に建つ家。
(設計施工: 大美建築)



辻本邸玄関。



住む人の共感を呼ぶ
家づくりをめざして。

住む人が主役の家づくりには、まず住まい手との信頼関係を築くことから始まります。住む人の性格や嗜好を知り、お客さまが真にのぞむ姿に作り上げることで、私たちの喜びです。

住宅



フリーポート: 1、2階が作業場、3、4、5階が住宅という構造。
(設計: 西垣コンセプトルーム)

浮田邸: 入浴塗りの外壁と明るいカラーの外観。
和洋折衷の住宅。
(設計: 森田建築設計事務所)

安心と安全を約束する共同体を追求して。



鷹取集合住宅：阪神淡路大震災後、初めて再建された長屋住宅。神戸街並み賞受賞。（設計：松原茂雄建築設計室）

たくさんの家族がひとつの建物に同居する集合住宅。言ってみれば、建物が一つの町を形成すると言ってもいいでしょう。廊下やエントランスなど、共同部分が多く、安全で住みやすい空間づくりが求められます。防音、防火などへの対策も考慮し、快適な住環境をつくっています。



マンションよしみ：5階建てマンション。（設計施工：大美建築）



ビレッジヒルズ東花園：ブロック壁が印象的なマンション。（設計：住環境設計）



村上邸：1階にお年寄りが住む3階建て住宅。



和田邸：2世帯住宅。



前田邸：角の電柱を避けての建築。

桜井邸：2世帯住宅。



（このページはすべて設計施工：大美建築）

限られた土地を有効に生かす。

これまでは核家族化する社会的な潮流がありました。しかし、これからは価値観はますます多様化し、2家族、3家族が同居することの価値が新たにクローズアップされてきています。そんな中で注目されているのが、限られた土地を有効に生かした住宅です。近隣との距離が狭いため、どうプライバシーを保っていくのか、その工夫も必要となってきます。制約が多い中において、お客さまののぞむ形を仕上げていくのは、建築業の醍醐味とも言えるでしょう。

藤本邸：肉厚な鉄骨を使った頑丈な住宅。



愉しさこぼれる空間を歓びの ストーリーで演出。

店舗

ポムの樹…国道沿いに建つオムライスレストラン。親しみやすいデザイン。



店舗建築で欠かせないポイントは、お客さまが入りやすいこと。思わず足を踏み入れたいくなる演出が求められます。これが歓喜への序章であるならば、お店の中の世界は第1章の始まり。店内には嬉しい語らいのエネルギーがみちあふれ、ひとりひとりの会話もはずみます。そして、最終章は再来を促す余韻。また来てみたいと思わせる雰囲気包まれて、店を後にする。この感動のストーリーをつくるのが、店舗づくりのコンセプトです。

ポムの樹・店内。



店舗
(改装例)



「大龍飯店」：中華料理店には珍しい暖色系のソフトな色合い
でコーディネート。



「ちゃんこ新(あらた)」：ラウンジだった店舗を和洋折衷の店に改装。
でコーディネート。



居酒屋「足寄」：限られたスペースを
生かした、ほっとなごむ空間。

(株)長生堂八幡筋店：結納品店らしく純和風を追求した店舗。
(設計施工：大美建築)

エコロジカルな視点を取り入れ、 環境建築を探る。

21世紀は環境の世紀とも言われています。建築業界においても、環境を抜きにして経営は成り立たなくなってきています。建築材料、工法などにムダ、ムリ、ムラをなくすることも限りある地球資源を大切にす第一歩です。廃棄物を減らす工夫や廃棄物を出さない方法などを考えていきます。

エイシテクノ(株)社屋。



エイシテクノ(株):ICのメッキ工場。
(設計施工:大美建築)



ナイスワンビル:淡い色調で、上町台地の景観にマッチしたビル。
(設計施工:大美建築)



(株)長生堂八幡筋店:石貼による7階建の和風調ビル。
(設計:樫本設計)

建主らしさを込め、景観も考えた、 次なるビルへ。

ビルや工場は、町の景観をかたちづくるファクターでもあり、社会性の高い建物です。それゆえに、使いやすさはもとより、周辺環境との調和を考慮しなければなりません。そこにそのビルがあるだけで、ほっとする、そんなビルもあります。決して見た目の派手さを競うのではなく、使う人、見る人にやすらぎを与え、どこことなく違う建物をつくっていきたいと考えています。



高正ビル:現代風のシンプルなデザイン設計。
(設計施工:大美建築)

数寄屋からスタートして、簡素化された自然美を究めつづける。

茶室

大美建築は、「細く」「薄く」「低く」この3つの基本を守りつつ、現代風にアレンジした新しい茶室建築にも取り組んでいます。

大美建築は、昭和13年に数寄屋建築から営業を始めました。主に茶室に使われる数寄屋建築。自然の材料である土、木、草、竹を用い、装飾を排除し極限にまで簡素化されたデザインに特徴があります。近くにある材料で作り上げた部屋には不思議と心がなごむ雰囲気漂います。

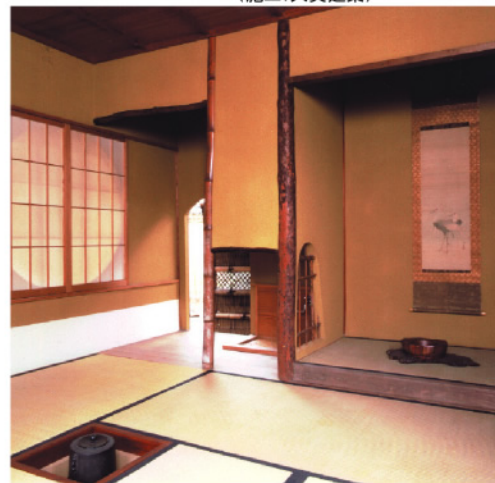
茶室は座ってみるもの。腰を下ろしたとき、包まれる安心感と同時に、解き放たれる開放感も味わうことができます。これがまさしく「数寄」の心。



今西邸: 茅葺き屋根が味わい深い茶室。(施工: 大美建築)

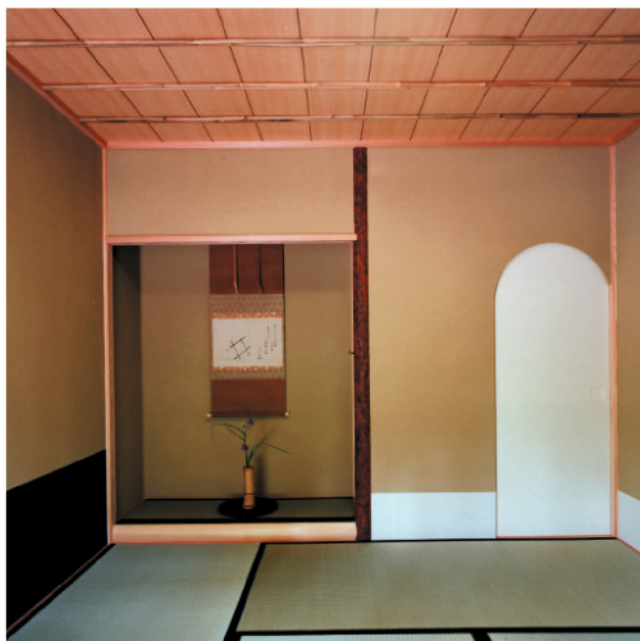
今西邸: まさしく、わびとさびの世界。(施工: 大美建築)

今西邸: 古来より言い伝えられる数寄屋の素材(土・木・竹・草)を使った茶室。(施工: 大美建築)



向井邸: 透かしの欄間・椋の床柱・春慶塗りの天板が特徴。(設計施工: 大美建築)

向井邸: ビル内の居宅にあり、10畳の広さを持つ茶室。(設計施工: 大美建築)



辻本邸: シンプルの極度を具現化した平田流の茶室。(設計施工: 大美建築)



茶室

いま、ここから始まる
新しい人生へ

設計は、その建物で住もう人、働く人、遊ぶ人、使う人のことを深く知ることから始まります。単に形をつくるのではなく、これから始まる新しい人生とともに考えていくことだと考えています。たとえば住宅の場合、その家族があと10年後、20年後どのような暮らし方をされるのか、家族の生き方やライフスタイルを十分に話し合ってからプランが生まれてきます。事を急いで建てることも可能ですが、それは長い目で見たときには、結局数年もしないうちに建て替える必要が出てきたりします。私たちは、お客さまと同じ高さの視点を保ちながら、しっくりなじんでいく建物を設計させていただきます。

コンセプトメイキング

どんな人生設計を考えておられるのか。納得のいく形に仕上げるための大切な段階です。

プランメイキング

誰がどの部屋にどのように住まうのか。少しずつ形が見えてきます。

デザイン・設計

いよいよ具体的な設計図をつくります。当社設計部門および設計事務所（業務提携）が担当します。お客さまのプランに合ったスタッフをコーディネートさせていただきます。

施工

創業60年以上の実績を誇る施工スタッフが、丁寧に心のこもった工事を担当いたします。

アフターメンテナンス

建物は完成してからで本当の価値がわかります。愛着を感じて長く住んで（使って）いただくためにきめの細かいメンテナンスを行います。

施主さまの一言

長年住んできたこの家を見回してみると、いくつかの欠点が目につきました。暗い食堂、あまり使わない和室、使いづらい洗面、トイレ、洗濯場など。この際に、思い切って改築を計画しました。設計コーディネートの方が私たち家族の意見や希望をきっちりと聞いて下さり、今では希望通りの家に生まれ変わりました。すっかり暮らしが一新し、毎日の生活が楽しくなりました。
(高槻市・Kさん)

タイムリーに、
住まい方を変える。

家族構成が変わるとき、気分を変えたいとき、老朽化してきたとき、身障者対応にする事情ができたとき、さまざまな理由で、お客さまはリフォームをされます。実に、住まい方は人それぞれ。家は、歳月とともに変えていくと、いつも新鮮な暮らしを演出することができます。

BEFORE



AFTER

ゆったりとした広めのお風呂。給湯器を取り替え、お湯もたっぷり。
廊下から直接トイレに。

和室を無くして、広々としたリビングに。ゆったりとしたくつろぎの空間が生まれました。

遊び心で思い切って、サンルームに。

出窓をつけたことで部屋が広く感じられ、光がいっぱい射し込みます。

キッチンを対面式に。背後にたっぷりの収納スペースを組み込みました。

食事の準備をしながら、洗濯が可能になりました。

沿革

- 1938年(昭和13年)8月 初代社長向井菊松が、大阪市北区豊崎町にて創業。木造数寄屋建築の営業を開始する。
- 1951年(昭和26年)3月 株式会社大美建築として会社組織に改組。旧大阪市南区鰻谷西之町に本社設立。
- 1958年(昭和33年)4月 大美建築一級建築士事務所登録。
- 1963年(昭和38年)2月 傍系会社として大美不動産株式会社を設立。
- 1967年(昭和42年)12月 宅地建物取引業者登録。
- 1981年(昭和56年)9月 前社長死去に伴い向井伸太が代表取締役役に就任。
- 1986年(昭和61年)11月 株式会社S・I・N総合企画を設立、設計企画部門として発足。
- 1988年(昭和63年)11月 本社を東大阪市荒川3丁目に移転。
- 1989年(平成元年)2月 大阪市中央区西心斎橋(旧南区鰻谷西之町)に大美建築ビル新築完成。
- 1991年(平成3年)5月 資本金を3,000万円に増資。
- 1998年(平成10年)3月 株式会社S・I・N総合企画を吸収合併。
- 1999年(平成11年)10月 大美不動産株式会社を吸収合併。

概要

社名:株式会社大美建築

創業:昭和13年8月

設立:昭和26年3月

資本金:3,000万円

代表者:向井伸太

従業員数:30名

事業内容:設計・総合請負業・宅建業・損害保険業

加入団体:大阪商工会議所、東大阪商工会議所、

大阪府建設業組合、大阪府宅建業組合

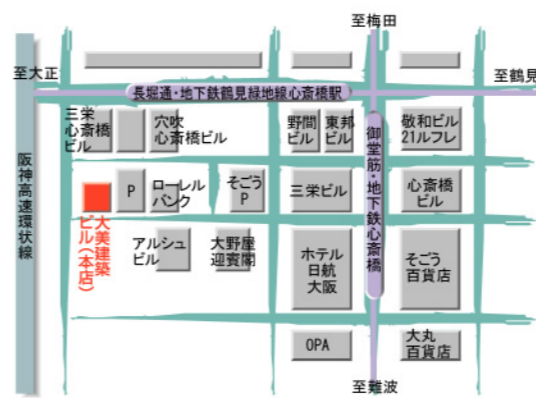
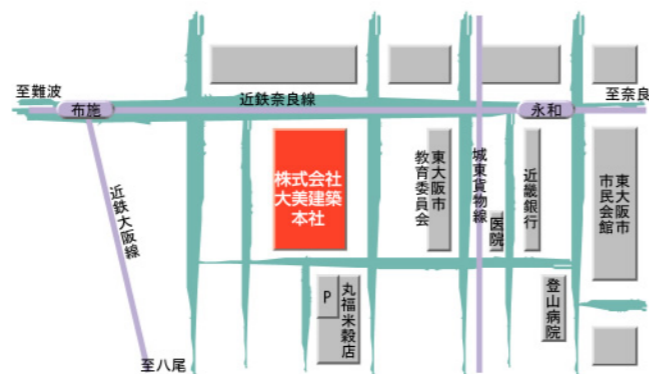
本社住所:〒577-0843 東大阪市荒川3丁目3番20号

Tel(06)6727-1306 FAX(06)6727-8216

本店住所:〒542-0086

大阪市中央区西心斎橋1丁目12番8号

Tel(06)6252-6622 FAX(06)6252-6623



豊かな経験と新しい技術。



大美建築ビル
(設計施工:大美建築)